

# 北広島町

## 観光振興まちづくり計画

— 自然・人・文化 輝くまちをめざして —

平成 20 年 3 月

北広島町

## はじめに

北広島町は、『新田園文化のまち』宣言「北広島町」とする将来像の実現に向け、新たな発想による創造と挑戦により、地域を再生し、定住・交流の拡大をめざすまちづくりに邁進しているところです。

本町は、豊かな自然やすばらしい景観、農林水産資源やそれを利用した特産品、歴史・文化などといった魅力ある観光資源を豊富に備えています。

さらに、従来の大型団体旅行から、友人や家族、小グループでの旅行といった形態の変化、観光目的の多様化など、観光を取りまく環境も大きく変化し始めています。

こうした情勢を踏まえ、町民の皆様をはじめ、観光関連団体、事業者の皆様、町が一体となった観光振興を図るため、今般平成20年を初年とし、北広島町長期総合計画の目標年次である平成28年の9年間で取り組む「北広島町観光振興まちづくり計画」を策定いたしました。

計画の特徴として、従来 of 産業の活性化のみを目的とした観光振興ではなく、地域再生へとつながる観光振興をめざし、観光資源の持続的・発展的な活用や観光地としての底上げのため、先導的、中核的に取り組む必要のある8つの事業を重点的に推進することとしております。

町といたしましては、今後、この計画を基に、『自然・人・文化 輝くまち「北広島」』をめざして諸施策の展開に全力を傾倒し、実現してまいりたいと考えております。計画の推進にあたっては、町民の皆様をはじめ、観光関連団体、事業者の皆様、それぞれの役割について、ご理解と積極的なご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、この計画の策定にあたり、熱心にご審議をいただきました北広島町観光振興計画策定委員会の皆様方をはじめ、様々なご協力をいただきました関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

平成20年3月

北 広 島 町 長  
竹 下 正 彦

# 目次

第1章	観光振興とまちづくり	
1.	計画の趣旨	1
2.	計画の位置づけ	1
3.	計画の期間	1
第2章	北広島町観光の現状と課題	
1.	北広島町観光の現状	2
2.	北広島町観光の課題	5
第3章	めざす「北広島町観光」の姿	
1.	基本理念	7
2.	計画の目標	7
3.	基本方針	7
第4章	計画の具体的施策	
1.	施策と事業	8
2.	重点事業	12
第5章	計画の推進体制	
1.	推進体制	20
2.	計画の点検・評価	20
資料編		21
	北広島町観光資源一覧	
	重点事業展開図	

## 第1章 観光振興とまちづくり

### 1. 計画の趣旨

全国各地で「観光振興」の取組みが盛んになっています。国では、平成18年12月に「観光立国推進基本法」が成立し、国家をあげて観光振興に取り組む「観光立国」の大きな流れが形づくられています。広島県でも、平成16年4月～平成18年3月実施の大型観光キャンペーンや、平成18年12月「ひろしま観光立県推進基本条例」の制定など、積極的な観光に対する取組みが行われています。

このような中、北広島町においては、平成17年の4町合併によって観光資源が増大しました。北広島町の町民、すばらしい自然や景観、特産品、地域の伝統芸能、史跡など、町にあるすべてのものが「観光資源」といえます。

産業としての観光は、宿泊、飲食、交通をはじめとする幅広い多様な業種から推進されるものであり、波及効果によって関連するその他の産業の活性化にもつながっていくことから、「総合産業」といわれています。

一方では、観光振興は地域づくりとも密接に係わっています。地域に埋もれている魅力に気づき、磨き、輝かせ、それを外部の人に見てもらうことが、地域住民の自信と誇り、ひいては地域への愛着につながります。また、住民自身が地域の魅力を再発見するとともに、住む人・訪れる人双方に配慮した地域づくりに取り組むことが魅力的な観光地づくりにつながると言えます。「観光は地域づくりの総仕上げ」といわれるゆえんです。そのため、この計画では従来の産業の活性化のみを目的とした観光振興ではなく、地域再生へとつながる観光振興をめざします。

### 2. 計画の位置づけ

北広島町では、様々な観点から合併によるメリットを最大限に活かすことが期待されています。それは、観光に関しても同じです。そのため、現在の北広島町における観光振興の意義を踏まえ、これからの北広島町がめざすべき観光の将来像を描くことが必要になっています。

北広島町観光振興まちづくり計画は、北広島町がめざす将来像を示すとともに、その実現のための基本方針と具体的施策について、その実施体制（推進体制）や実施期間を合わせて示すものです。

### 3. 計画の期間

この計画は、平成20年から北広島町長期総合計画の目標年次である平成28年の9年間で取り組みます。なお、計画策定後は、この進捗状況の把握に努めるとともに、社会的情勢の変化などを踏まえ、4年目に進捗状況を含めた再評価を行い、計画内容の見直しを行うこととします。

## 第2章 北広島町観光の現状と課題

### 1. 北広島町観光の現状

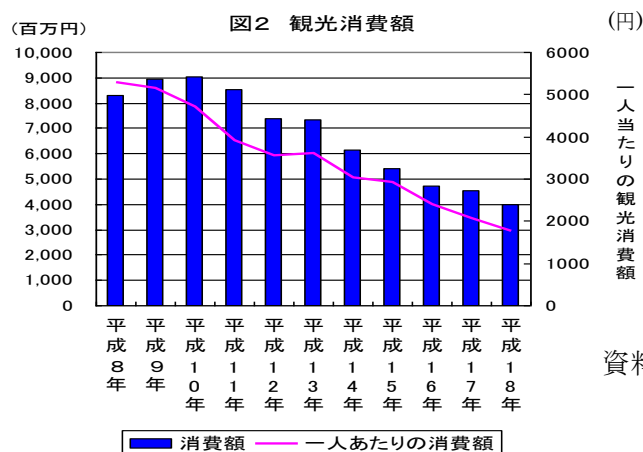
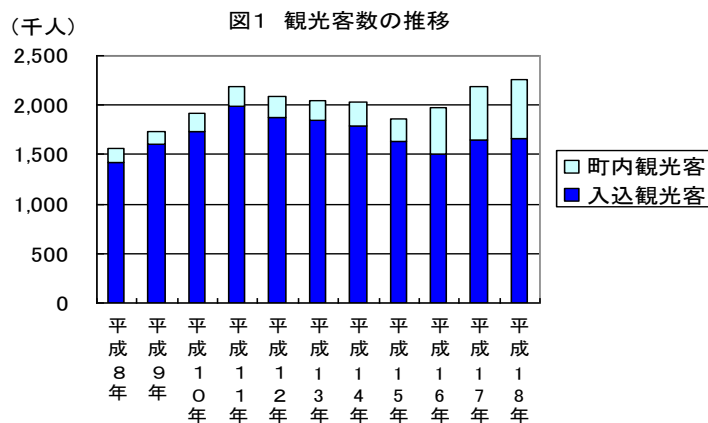
本町は、西中国山地国定公園、環境省選定の「日本の重要湿地500」に選ばれた八幡湿原などの自然、スノースポーツ、温泉などを活かした多彩な観光資源を有し、町内には「芸北オークガーデン」、「田原温泉5000年風呂」、「アザレア千代田」、「豊平どんぐり村」など特徴的な施設も立地しています。また、日本最南端の本格的スキー場の集積地であり、中・四国、九州地域など広範囲からの観光客がみられます。さらに、花田植や神楽などの郷土芸能が盛んであり、史跡吉川氏城館跡などの遺跡も数多くあります。

一方、観光協会が旧町単位に存在しまとまった観光振興体制が弱いこと、観光資源等のネットワークが弱いこと、宿泊施設が小規模であること、観光案内の看板等の統一性がないことなどの問題点も指摘されています。

#### (1) 観光客の特性

本町の平成18年の観光客数をみると、入込観光客数166.3万人、町内観光客58.9万人で合計225.2万人となっており、過去最高を記録しました。しかし、入込観光客の推移をみると、平成11年をピークにその後やや減少し、近年増加に転じているものの、その増加に伸び悩んでいます。

また、観光消費額は減少傾向にあります。平成8年には、観光客一人あたりの観光消費額は5,292円だったものが、平成18年には1,768円と、平成8年の約1/3にまで落ち込んでいます。

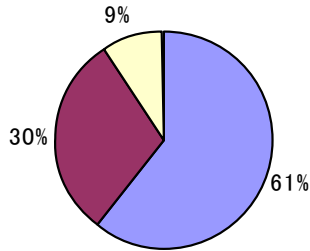


資料：広島県（各年版）

『広島県観光客数の動向』

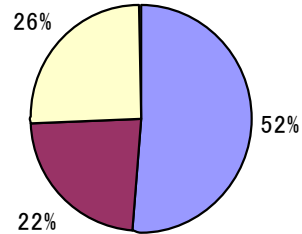
入込観光客数全体を発地別にみると、県内観光客が大半を占めており、旅行形態も日帰り客が圧倒的に多くなっています。

図3-1 平成8年発地別観光客の割合



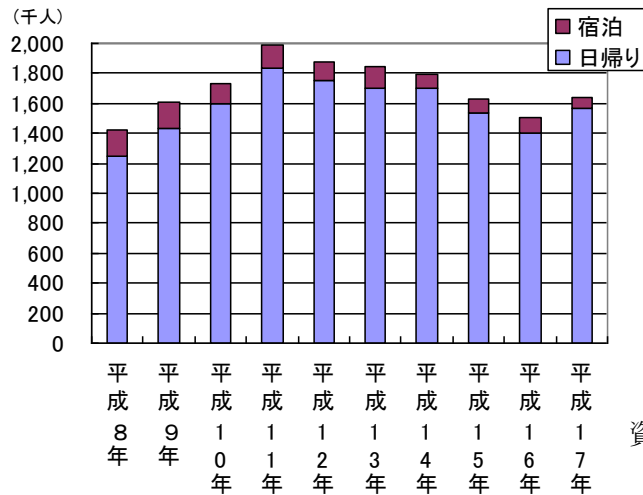
■ 県内客(町内除) ■ 県外客 □ 町内観光客

図3-2 平成18年発地別観光客の割合



■ 県内客(町内除) ■ 県外客 □ 町内観光客

図4 入込観光客数(日帰・宿泊別)

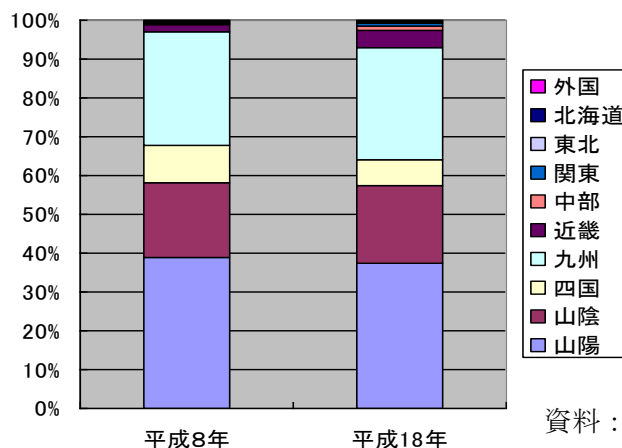


資料：広島県（各年版）

『広島県観光客数の動向』

県外観光客は山陰、山陽、九州、四国ではほぼ占められており、その中でも中国地方（山陰・山陽）からの観光客が半数を占めています。このことから、県外観光客の多くは日帰り圏内からの来町と推測できます。また、北広島町での滞在時間の短さが、観光消費額の減少につながっていると考えられます。

図5 北広島町への発地別観光客割合(県外客)

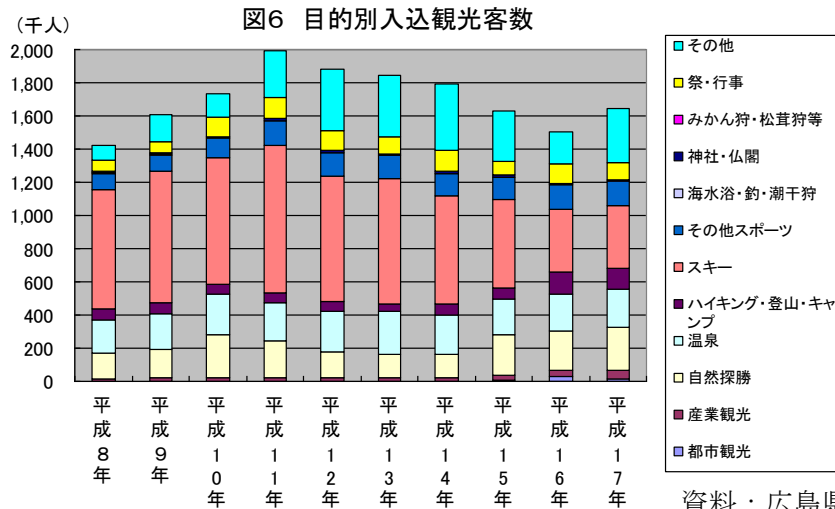


資料：広島県（各年版）

『広島県観光客数の動向』

入込観光客数を目的別にみると、スキー客は平成11年の89万人をピークに年々減少を続けており、平成17年には37.6万人と半分以下にまで落ち込んでいます。

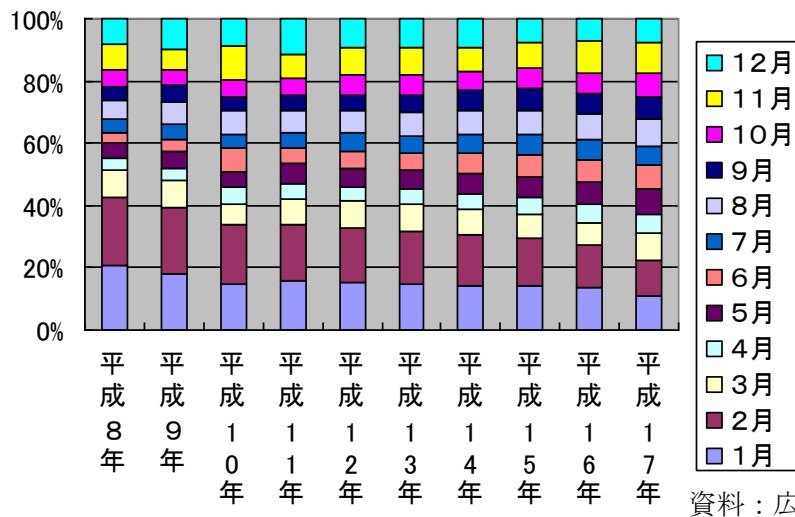
それとは対照的に、自然探勝やハイキング・登山といった自然を楽しむ目的で訪れる人は、21.8万人（平成8年）から39.5万人（平成17年）と増加傾向にあります。



『広島県観光客数の動向』

また、月別入込観光客数の割合をみると、春は横ばい、夏・秋は増加、冬は減少しており、春・冬の時期における観光客数の低下が課題であるといえます。

図7 月別入込観光客



『広島県観光客数の動向』

## (2) 観光資源

美しい風景や史跡など見て楽しむ観光資源があれば、トレッキングやそば打ちといった体験をして楽しむ観光資源もあるなど、観光の対象となる「もの」や「こと」は様々です。合併により、本町には自然系・歴史文化系の多様な観光資源が存在することになりました。これは、北広島町観光の強みだと言えます。

表1 観光資源数

自然資源	地域産業	歴史・文化	施設	観光形態
自然 63	温泉 8 名水 8	伝統芸能 13 史跡 57	文化施設 15 宿泊施設 60	レジャー 40 イベント 56 体験 9
	特産品 21 産直市 27 工芸品 4			

観光資源の内訳をみると、イベントは地域に密着した形で活発に行われていますが、遠方から集客が見込める大規模なものは少ないのが現状です。また、宿泊施設 60 箇所多くは民宿といった小規模なものとなっています。

本町にある、文化財保護法による国指定の特別天然記念物や自然公園法による国定公園は表2に示すとおりです。

表2 国指定文化財と国定公園

種別		文化財の名称	
国指定文化財	記念物 (国指定)	特別名勝	三段峡
		特別天然記念物	オオサンショウウオ
		史跡	吉川氏城館跡（駿河丸城跡、小倉山城跡、日山城跡、吉川元春館跡、松本屋敷跡、洞仙寺跡、西禅寺跡、常仙寺跡、万徳院跡）
		名勝	旧万徳院庭園、吉川元春館跡庭園
		天然記念物	大朝のテングシデ群落
	重要文化財		龍山八幡神社本殿
			木造薬師如来像など 12 体（通称：古保利薬師）
		重要有形民俗文化財	
			川東のはやし田用具
			芸北の染色用具及び草木染めコレクション
重要無形民俗文化財		安芸のはやし田	
		壬生の花田植	
国定公園	西中国山地国定公園	阿佐山、臥竜山	

## 2. 北広島町観光の課題

### (1) 地域資源に関する課題

合併により、本町は多様な地域資源の魅力を有するようになりました。しかし、その資源や魅力を十分に活かしきれていない現状にあります。また、観光は様々な産業から成り立っている総合産業です。観光事業者だけでなく、農林業といった他産業と連携を図る必要があります。多様な魅力を再認識し、活用していくとともに、観光による効果を地域全体で共有していくためにも、地域間、産業間での連携を強化することが課題です。



## （２）受入体制に関する課題

観光は、旅行業、宿泊業などの限られた分野の人だけに関わると考えられがちですが、観光地での地元の人との交流は観光客の印象に強く残ります。「北広島町に来てよかった」と思っていたくためにも、住民一人ひとりが「おもてなしの心」を持つことが課題です。

また、これまで観光にかかわっているという意識がなかった地域、住民においては、自分達の暮らす地域の魅力を発掘していくことから観光が始まります。これらの資源を再発見し、磨き、輝かせることによる、本町のさらなる魅力アップも課題です。

## （３）条件整備に関する課題

本町を訪れる観光客は、個人・団体といった形態や移動手段も様々です。本町は広い面積を有し、他の観光地に比べ、観光客の移動距離が長くなるため、移動のための交通利便性の向上が課題です。

また、多様な観光客にとって、必要となる情報やその取得のタイミング、場所などはそれぞれ異なります。しかし、このような観光客の状況を正確に把握しきれていないため、本町の情報を十分に発信できていない現状があります。いつ、どのような情報が必要とされているのかを見極め、積極的に発信していくことが課題です。

## （４）ターゲットに関する課題

本町の魅力を伝えていく上で大切なのは、「どこに向けて情報を発信していくか」ということです。これまでは、どういった集客圏、どの年齢層に PR していくかなど、ターゲットを絞りきらないまま宣伝活動を行っていました。今後は観光テーマや観光資源ごとにターゲット層を検討し、効果的に広報活動をしていくことが課題です。

## 第3章 めざす「北広島町観光」の姿

### 1. 基本理念

特別天然記念物のオオサンショウウオや天然記念物である大朝のテングシデ群落などの豊かな自然、神楽や花田植などの伝統芸能を有している北広島町には、多彩な観光資源があります。こうした観光資源を持続的・発展的に活用していくことで、地域に密着した、息の長い観光振興を実現させることができます。

観光は、観光事業者や行政だけで推進するものではありません。北広島町民一人ひとりが町の魅力を再発見し、誇りに思うことで、まち全体の輝きが増してきます。豊かな自然、そこで暮らす人、人の営みから醸成される文化、それら全てを輝かせることが、地域の再生へとつながります。訪れた人が何度も訪れたい、住んでみたいと思えるような「元気なまち」をみんなで実現させましょう。

### 北広島町観光の将来像

**自然・人・文化 輝くまち 「北広島」**

### 基本理念

**何度も訪れたい、住んでみたい  
「元気なまち」をめざす**

### 2. 計画の目標

入込観光客数については、15万人の増加（平成18年入込観光客数の約10%）、観光消費額については、観光客一人あたりの消費額の1,000円増加をめざします。また、来町者満足度の向上といった「元気なまち 北広島」実現につながるものを重視します。

### 3. 基本方針

計画の基本理念に基づき、将来像の実現に向けて、次の4つの基本方針を設定します。

#### ○ 地域の個性を活かした観光

歴史や田園文化、自然など、北広島町の地域特性を活かした観光を推進します。

#### ○ 地域の価値を高める観光

エコツーリズムやグリーンツーリズムなどの新しい観光分野への取り組みや、北広島町ブランドの開発を通じ、儲かる観光に挑戦します。

#### ○ 地域ぐるみで取り組む心の潤う観光

町の観光振興体制の強化や担い手の育成、ホスピタリティの向上を図ります。

#### ○ お客様の視点で始める観光

観光情報サービスの強化といったソフト面と、交通アクセス、案内標示や公衆トイレなどのハード面を含めた条件整備を推進します。

## 第4章 計画の具体的施策

基本理念、基本方針に基づき、7つの視点から実効性が高い新たな観光振興施策を展開し、北広島町観光の将来像の実現に向けて実施していきます。中でも観光資源の持続的・発展的な活用や観光地としての底上げのため、先導的、中核的に取り組む必要のある8つの事業を重点的に展開します。

### 1. 施策と事業

本計画において推進する施策と事業は次のように整理できます。事業は重点事業とその他の事業に分けています。

#### (1) 地域の個性を活かした観光

##### ①地域資源の活用

北広島町の宝に気付き、磨くことで、魅力を再構築します。

##### ■地域資源の掘り起こしと活用

本町に眠る地域資源を町民自身が発掘し、多くの人に持続的に楽しんでもらえるような活用を図ります。

##### ■地域資源の保全と活用

町民と町外ボランティアの協働による観光資源の維持管理といったような、保全と活用、交流を行います。

〈重点事業〉

##### ◆ 野生生物保護プロジェクト

〈その他の事業〉

◇ スキー場再生・活性化プロジェクト

◇ 地元おススメ「きたひろガイド」作成

◇ ボランティアに対する地域通貨（ユート）利用の検討

##### ②スケールメリットを活かす

各観光資源をつなぐことにより、北広島町の一体となった魅力を創出します。

##### ■町内4地域連携

観光客のニーズをふまえ、テーマ別のルート確立による町内の一体化を図ります。

##### ■施設間連携

町内にある各施設をうまく回れるような仕組みづくりを行います。

〈重点事業〉

##### ◆ 吉川史跡観光資源活用プロジェクト

〈その他の事業〉

◇ 目的別、時間別といった選択できる魅力ある観光コースの設定

◇ フィールドミュージアムの推進

#### (2) 地域の価値を高める観光

##### ③きたひろスタイルの創出

「北広島町ならではの」という付加価値のついた観光体験の提供による息の長い観光をめざします。

■北広島らしさの創出

北広島町でしか味わえない魅力を掘り起こし、「らしさ」を創出します。

■新しい観光への挑戦

豊富な資源を活かし、エコツーリズムやグリーンツーリズムを推進します。

〈重点事業〉

◆ 農山村体験プロジェクト

〈その他の事業〉

◇ 名水の里づくりの検討

◇ きたひろ版「エコツーリズム」の実践

④消費拡大、お客様満足度の向上

元気なまちづくりによる観光消費額の拡大とお客様満足度の向上を図ります。

■北広島の楽しみ方提案

長期滞在の促進や宿泊促進のため、様々な北広島町の楽しみ方の提案や情報提供を行います。

■北広島町ブランドの開発

食や自然、体験といったきらりと光るオンリーワンを、地域ブランドとして確立します。

〈重点事業〉

◆ どぶろく活用プロジェクト

〈その他の事業〉

◇ スポーツ合宿のメッカづくり

◇ 郷土料理や田舎料理提供店の開拓

(3) 地域ぐるみで取り組む心の潤う観光

⑤町民が自慢したくなる北広島町へ

町民自ら、北広島町の魅力を再発見することから「観光」を始めます。

■町民の愛着と誇りの向上

観光をきっかけに地元の宝を再発見し、北広島町への愛着と誇りを醸成します。

〈重点事業〉

◆ 宝の山きたひろしまお宝発見プロジェクト

〈その他の事業〉

◇ 観光リーダー育成プログラムの検討

⑥推進体制構築

事業者、観光協会、町民、行政それぞれが自らの役割を果たすことで観光振興を実現させます。

〈重点事業〉

◆ 手つなぎプロジェクト

〈その他の事業〉

◇ 事業者、観光協会、町民、行政参加による観光情報交換会

(4) お客様の視点で始める観光

⑦観光地としてのベースアップ

基本的な受入態勢の充実・整備により、訪れる人に親切な町にします。

■交通インフラの整備

来町者がわかりやすく、行きたい所へスムーズに行ける交通手段やルートの整備を進めます。

■観光サインの整備

初めて北広島を訪れた人にもわかりやすい案内標示の設置を進めます。

■積極的な情報発信

迅速で効果的な観光情報発信体制を構築します。

〈重点事業〉

- ◆ 観光サイン整備プロジェクト
- ◆ 観光情報発信プロジェクト

〈その他の事業〉

- ◇ バス乗り場や時刻表、駐車場やトイレを地図に集約した交通マップの作成
- ◇ 観光サイン設置後の検証
- ◇ 道の駅の観光・交流施設機能の充実と有効活用

これらの基本理念、基本方針、施策、事業の関係は次ページの図のようにまとめることができます。

また、次の2. 重点事業においては、8つの重点事業の詳細を説明しています。



◆重点事業  
◇その他の事業

## 2. 重点事業

### (1) 地域の個性を活かした観光

重点事業名	北広島町 野生生物保護プロジェクト		
目的	町内に存在する西日本有数の自然を、持続的・発展的に観光に活用するために、「観光客の増加」や「踏みつけの増加」「盗掘の増加」など、将来予測されるオーバーユースに対応する目的で、一連の事業・施策を実施する。		
概要	野生生物保護の根拠となる町条例を制定し、これを活用する事業を実施する。条例の制定により、不法採取を抑止するとともに、町内外に対して、「自然環境を大切にする町」をアピールする。また、各事業には、町内外を問わず、広く住民が参加しやすいしくみを作り、保存と観光の両方を同時に推進していく。		
推進体制／実施体制	地権者・警察・一般市民・NPO・観光協会・北広島町		
事業実施期間	平成 20 年～		
重点事業を構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要	実施体制 (推進体制)	実施期間
北広島町野生生物保護条例の制定	野生生物保護に関する施策の基礎となる条例を制定する。	北広島町	平成 20 年度
保護区等の設定と整備	条例に基づいて、野生生物保護区や指定野生生物を指定する。	北広島町 地権者	平成 20 年度から 随時
保護監視システムの整備・運用	保護区内への立ち入りや盗掘が発見された際に、それを通報するシステムを整備する。悪質な場合には警察等と連携して現場での処理も行う。	北広島町 一般市民 警察	平成 20 年度～
レンジャーの育成と活用	自然保護活動を補助するレンジャーを一般市民から公募・育成し、教育・広報・監視などの活動に活用する。	北広島町 観光協会 NPO	平成 20 年度～

重点事業名	吉川史跡観光資源活用プロジェクト		
目的	整備された吉川史跡を観光資源として活用し、遺跡の価値を町内外の人たちに知ってもらい、貴重な文化遺産を次世代に継承する。		
概要	<p>復元した中世の台所で地元で採れた食材を調理し、中世食文化に触れたり、芝生広場での交流グラウンドゴルフなどを通じて地元との交流につなげる。</p> <p>歴史的なつながりがわかる史跡探訪コースを設定し、ボランティアガイドによる中世史跡めぐりとガイドブックの作成。史跡の里親による「草刈たい!」、イベント時ボランティアスタッフなど史跡をサポートするボランティアの養成。</p>		
推進体制／実施体制	地元、観光協会、北広島町		
事業実施期間	平成 20 年度～		
重点事業を構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要	実施体制 (推進体制)	実施期間
ボランティアの養成	史跡探訪ガイドやイベント時のボランティアスタッフ、史跡の里親による「草刈たい!」をつくる。	北広島町	平成 20 年度～
中世食文化体験事業	戦国の庭 歴史館に復元した中世の台所で、四季折々の食材を調理し、中世の食文化を体験する。好評なものがあれば、吉川本陣でのメニュー化を試みる。	地元(三ちゃんs村、吉川本陣)	平成 20 年度～
戦国の庭 歴史公園活用	芝生広場でのお月見コンサート、草木染め講習会を開催し、歴史に関心ある人だけでなく多目的な活用を進める。	実行委員会	平成 20 年度～
中世遺跡探訪事業	吉川氏の関連遺跡を歴史的なつながりがわかるガイドブックをつくって、観光ボランティアガイドが町内を案内する。	観光協会	平成 21 年度～



(2) 地域の価値を高める観光

重点事業名	農山村体験交流プロジェクト		
目的	北広島らしい地域資源を使った「体験」型交流を実施し、定住につなげる。神楽団との交流、豊かな自然のなかでの暮らしを体験する学習、様々な体験を通して、新たな発見をしてもらい、魅力づくりを進め、地域の活力とする。		
概要	子どもたちのこころの荒れた状況が社会問題化しているなか、北広島の豊かな自然のなかで、農産物を育て、収穫をとおして、すばらしい体験を重ね、北広島ファンクラブに結び付ける。北広島は神楽が盛んな土地柄である。神楽団に体験入門し、秋の祭りで成果を発表してもらおう。		
推進体制／実施体制	地域振興会、農事組合法人、神楽振興協議会、やまなみ大学、公民館		
事業実施期間	平成 20 年度～		
重点事業を構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要	実施体制 (推進体制)	実施期間
親子あいがも農業体験事業	あいがも農法をしている地域で、親子で田植えから脱穀までを体験し、あいがもの燻製をつくり、農業や命の尊さを学ぶ。	農事組合法人 地域振興会	平成 20 年度～
川と森の生活体験事業	子どもを対象に夏休みを利用し、町内の川や森で、川遊び、森での虫取りなどの体験を通して自然に触れ、農山村地域への関心、地元住民との交流を深める。	農事組合法人 地域振興会 NPO 法人	平成 20 年度～
こだわりの「そば」体験	そばの種まきから収穫、製粉、そば打ちまでを体験。また、そばまつりで「人にふるまう」という体験してもらおう。	豊平そば道場 豊平手打ちそば 保存会 北広島町	平成 20 年度～
「神楽の舞・がく」体験事業	少人数限定で町外の人を受入れて、2か月通いながら神楽を練習し、受入神楽団の地元の秋のまつりで神楽の舞や楽を披露する。	神楽振興協議会	平成 20 年度～
神楽面づくり、笛づくり体験事業	町内外の大人や子供を対象に神楽の面や笛づくりの講習会を開催。出来上がった面や笛を使い、秋のまつりで舞や楽を体験。	やまなみ大学 公民館	平成 20 年度～

重点事業名	どぶろく活用プロジェクト		
目的	地域資源を活かした滞在型の観光の定着を目指し、交流人口の拡大による地域の活性化を図る。		
概要	どぶろくを飲みながら民宿で四季折々の田舎料理と風景でおもてなしができる「どぶろくの郷（さと）」をつくる。		
推進体制／実施体制	どぶろく研究会、芸北民宿業振興協会、北広島町		
事業実施期間	平成 20 年度～		
重点事業を構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要	実施体制（推進体制）	実施期間
どぶろくの郷づくり	どぶろくのつくり手を増やし、どぶろくの提供を拡大する。	どぶろく研究会 芸北民宿業振興協会 北広島町	平成 20 年度～
どぶろくに合う料理の開発	レシピ化 どぶろくに合う料理の開発。 料理コンテストの開催。	どぶろく研究会 芸北民宿業振興協会 北広島町	平成 20 年度～
どぶろくを飲む場所づくり	おもてなしの勉強会 どぶろく手形・カードの発行。 どぶろくを扱う店のマークづくり。	どぶろく研究会 芸北民宿業振興協会 北広島町	平成 20 年度～

(3) 地域ぐるみで取り組む心の潤う観光

重点事業名	宝の山きたひろしま お宝発見プロジェクト		
目的	自分が住んでいる地域の「よさ・すばらしさ＝宝」の再発見を促し、「ふるさと自慢」につなげることで、北広島町への愛着と誇りを醸成する。		
概要	<p>わが町の「よさ」「すばらしさ」といった地域を知るための機会を設ける。</p> <p>その上で、改めてどのような資源があるのか考え、その活用方法を町民自身で考える道筋をつけ、観光リーダーの養成に結びつける。</p> <p>また、ご当地検定実施により、観光大使といった北広島町 PR 員を町内外に確保する。</p>		
推進体制／実施体制	地域・広島大学・観光協会・北広島町		
事業実施期間	平成 20 年度～		
重点事業を構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要	実施体制（推進体制）	実施期間
ふるさと再発見講座	ふるさとの貴重な資源について再認識するための講座開設（植物・オオサンショウウオ・神楽・史跡など）。	地域協議会 広島大学 北広島町	平成 20 年度（前半）～
お宝発掘プログラム	自分達が住む地域にある資源を発掘し、今後の活用方法を検討するため、ワークショップを開催。	地域協議会 観光協会 北広島町	平成 20 年度（後半）～
きたひろご当地検定	「北広島通」を検定試験により認定する。認定者を北広島観光大使等につなげる。	地域協議会 観光協会 北広島町	平成 21 年度～

重点事業名	手つなぎプロジェクト		
目的	町内はもとより、町外とも広く連携をとり、人を、まちをネットワークすることで、観光振興推進体制を構築する。		
概要	ふるさと交流を推進することによる町外応援団づくり、役割分担による産・学・民・官連携、観光広域ネットワークづくり、これらの取り組みによる観光振興推進体制を構築する。		
推進体制／実施体制	各ふるさと会、広島大学、広島県、広島県観光連盟、地域協議会、商工会、観光協会、北広島町		
プラン実施期間	平成 20 年度～		
重点事業を構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要	実施体制（推進体制）	実施期間
ふるさと交流推進事業	町出身者で旧町ごとに設立されている「ふるさと会」の総会開催を北広島町に誘致。地元との交流機会の増加と、会員の「北広島応援団・宣伝員」化を狙い、町外からも観光振興を推進してもらう。	広島芸北会 広島大朝会 広島千代田会 広島豊平会 地域協議会 北広島町	平成 20 年度～
産・学・民・官連携体制確立	観光に係わる多岐にわたる団体を、それぞれが独自に活動するのではなく、各主体の特性を活かした役割分担を行うことにより、強力な連携体制を構築する。	広島大学 地域協議会 北広島町商工会 観光協会 北広島町	平成 20 年度～
広域ネットワークの構築	北広島町が持っていない魅力を相互に補完しあい、強固な連携をとるため、広域ネットワークづくりを進める。	広島県 広島県観光連盟 広島広域都市圏 北広島町	平成 20 年度～

(4) お客様の視点で始める観光

重点事業名	北広島町観光サイン整備プロジェクト		
目的	北広島町全体の戦略的な案内標識の整備を推進する。		
概要	観光案内標識を対象とした統一的なガイドラインである観光サイン計画を策定する。また、モデル地域を指定し、町民（地域関係団体）との協働により計画策定を行う試みとして、ワークショップを開催する。そして、策定された計画に基づき、町内全域を網羅した広域的かつ統一的で一貫性のある観光案内看板等を設置することにより、訪れる観光客の観光スポットへのスムーズな誘導を図る。		
推進体制／実施体制	観光協会・関係機関・北広島町		
事業実施期間	平成 20 年度～		
重点事業を構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要	実施体制（推進体制）	実施期間
北広島町観光サイン計画策定事業	観光案内標識を対象とした統一的なガイドラインである観光サイン計画を策定する。	観光協会・関係機関・北広島町	平成 20 年度～
北広島町観光サイン計画モデル事業	モデル地域を指定し、町民（地域関係団体）との協働により計画策定を行う試みとして、ワークショップを開催する。	観光協会・モデル地域関係団体・北広島町	平成 20 年度～
北広島町観光サイン計画実施事業	北広島町観光サイン計画に基づき、町内全域を網羅した広域的かつ統一的で一貫性のある観光案内看板等を設置することにより、訪れる観光客の観光スポットへのスムーズな誘導を図る。	観光協会・関係機関・北広島町	平成 21 年度～

重点事業名	観光情報発信プロジェクト		
目的	「北広島ってどこ？何がある町？」「町内に住んでいても広くて様子が分からない」…そんな声にお応えできる観光情報の一元化と効果的な情報発信を行う。		
概要	効果的に情報発信するための「観光戦略会議」を実行する。その中で現在ある観光ホームページ等の内容を充実し、町外から北広島町の情報を発信するスポットを発掘する。		
推進体制／実施体制	観光事業者、北広島町商工会、観光協会、北広島町		
事業実施期間	平成 20 年度～		
重点事業を構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要	実施体制（推進体制）	実施期間
観光戦略会議	プレスや観光エージェント等に対し、効果的・計画的に情報を発信するため、定期的に会議を開催する。	観光事業者 観光協会 北広島町	平成 20 年度～
観光ホームページ等の充実	全町一体的なホームページを作成し、開花情報といった旬の情報をきめ細かく発信する。 また、町内への情報発信は「きたひろネット（ケーブルテレビ）」（平成 22 年供用開始予定）を活用する。	観光協会 北広島町	平成 20 年度～
町外情報発信スポットの発掘	町外（特に広島市等近郊の市町）で観光情報を発信してくれる人や店、いわば「北広島情報アンテナショップ」のような場を確保する。	北広島町商工会 観光協会 北広島町	平成 20 年度～

## 第5章 計画の推進体制

### 1. 推進体制

観光は、事業者、町民、行政など幅広い担い手により支えられる取組みです。そのため、計画のどの部分を、誰が担うのか、という役割分担を明確にする必要があります。本計画を着実に実行し、推進していくためには、一人ひとりがその中で役割を果たすことが大切です。それぞれが自らの役割を互いに理解し、協働していくことで、北広島町が一体となった観光振興を推進することができます。

#### (1) 北広島町の役割

北広島町は、めざす観光の将来像『自然・人・文化 輝くまち 「北広島」』の実現に向け、本町の特性を活かした観光振興に取り組めます。そのために、行政内では、各セクションが一体となって観光振興の視点に立ち、地域の活性化に取り組むための共通認識と情報の共有を図ります。

また、観光振興のための情報収集や分析に努め、町が本計画推進のリーダーシップをとることで、着実に計画を実行していきます。

#### (2) 事業者の役割

北広島町の基幹産業である農業をはじめ、商工業も観光の重要な担い手です。物やサービスの提供すべてが観光につながっていると考えられます。観光事業者だけでなく、様々な事業者が一体となり、新たな魅力づくりに取り組むことによって、観光客に対して「観光地 北広島町」の印象を付与することが可能となります。

また、観光によって得られた様々な効果を地域に還元し、地域の活性化を促進していくことが期待されます。

#### (3) 観光協会の役割

観光協会には、観光振興を推進する中核的存在としての役割を発揮することが求められます。そのため、組織体制の充実を図るとともに、関連団体間の連携強化が期待されます。

また、観光情報の一元化とリアルタイムな情報提供、積極的な観光 PR による誘致宣伝活動の展開やホスピタリティの向上に努めます。

#### (4) 町民の役割

町民は、地域経済や文化の担い手であり、まちづくりの主役です。それぞれの地域の魅力が一番知っているのは、町民です。地域への愛着と誇りをもち、積極的に地域の魅力を発信する主体となることが期待されます。

また、観光客に対し、おもてなしの心と態度を持って接するなど、町民皆で観光客を迎え入れる意識の醸成に努めます。

### 2. 計画の点検・評価

この計画は、平成 20 年から 9 年間で取組みます。計画の進捗状況と課題把握のため、1 年ごとに事業主体がチェックシートを活用し、現状を把握するチェック体制を整え、各事業の見直しを含めた点検・評価を北広島町観光主管課が中心となり行います。計画策定後は、4 年目に社会情勢の変化や進捗状況を含めた再評価を行い、計画全体の見直しを行うこととします。

## お わ り に

委員長としてご挨拶申し上げます。まず、本委員会には北広島町の内外から、観光振興に関する専門家や観光振興やまちづくりに取り組んでおられる方々に委員として参加をいただき、北広島町における観光振興とまちづくりについて多くのご意見をいただきました。各委員におかれましては、ご多忙中のところ熱心にご参加をいただき、おかげで本計画書をこのようにまとめることができました。関係各位に深く感謝申し上げます。

本計画書において提案内容にはいくつかの特徴があります。1つ目は、計画策定にあたって、観光振興はもとより、観光振興を通じて自らの地域を再評価し、まちづくりに繋げてゆくこと、そしてそのために自らの地域にある自然環境や歴史文化、住民の暮らしそのものを大切な資源として大切にするという姿勢を前面に押し出したことです。「観光振興まちづくり」という計画の名称は、観光振興を通じて、新たな北広島町のまちづくりを進めるという考えが根底にあります。観光まちづくりのためには自治体や各種団体や事業所などが果たすべき役割は少なくありませんが、主役はそこに住む住民の方々です。地域に住む方々がそこにある歴史・文化資源や自然資源の価値をしっかりと認識し、大切にされること、そして観光に来られた方々を温かく迎えるまちをつくってゆくことがもっとも大事と思います。

2つ目には、委員会のための資料づくりに町役場の多くの職員の方々が参加され、精力的な作業と意見交換をされたことです。その成果が本計画書において中心的な柱をなす8つの重点事業として結実したと考えます。これは、旧4町の合併以後に取り組みされた初めての町あげでの取り組みと竹下町長様からお聞きしました。その策定のための協働作業は大きく評価できるものと考えます。そして、3つ目には、提案された計画と事業進捗を定期的に点検・評価するという姿勢を示されたことです。そのため、町役場だけでなく、住民、NPO、関係団体・関係事業者が互いに協力し、北広島町における観光振興とまちづくりに向けた着実な活動が期待されます。

最後に、北広島町においては、本計画書の提案をしっかりと受けとめられ、今後とも着実な観光振興とまちづくりを進められることを期待しています。最後になりましたが、委員会の活動を支えていただいた立地定住推進室をはじめとする北広島町役場の皆様方にお礼を申し上げます。

平成20年3月

北広島町観光振興計画策定委員会委員長

戸 田 常 一



北広島町観光資源一覧

種別	名称	エリア
イベント	筏津アートフェスタ	大朝
	いわどホテル祭り	大朝
	大朝神楽競演大会	大朝
	大朝寒曳スノーフェスティバル	大朝
	おおあさ鳴滝露天温泉オカリナコンサート	大朝
	おおあさ鳴滝露天温泉神楽共演大会	大朝
	おおあさ鳴滝露天温泉年越しイベント	大朝
	大朝春市(わさまち)	大朝
	おおあさふるさとまつり	大朝
	大塚サマーフェスティバル	大朝
	大花田植	大朝
	小倉山公園花ショウブ園開園	大朝
	郷里の秋～実りの収穫祭～	大朝
	黒瀧に登ろう!	大朝
	新庄夜市	大朝
	田原温泉秋まつり	大朝
	田原温泉夏まつり	大朝
	田原温泉春まつり	大朝
	天意の里カモミールまつり	大朝
	天意の里大根まつり	大朝
	天意の里ラベンダーまつり	大朝
	鳴滝そうめん流し	大朝
	芽吹きの家～春の神楽まつり～	大朝
	ゆく年くる年年越しイベント	大朝
	乙九日炎の祭典	芸北
	芸北神楽研究発表会	芸北
	芸北高原秋祭り	芸北
	げいほく土用市WITHかぐら	芸北
	太刀納め神楽	芸北
	八幡高原聖湖マラソン大会	芸北
	今田城こぶし祭り	千代田
	神楽の里千代田神楽競演大会	千代田
	川戸虫送り行事	千代田
	近県選抜優秀神楽発表大会	千代田
	芸石神楽競演大会	千代田
	ちよだ夏祭り	千代田
	千代田まつり町内神楽発表大会	千代田
	月一の舞い	千代田
	古保利薬師春祭り	千代田
	万徳院春をたべる会	千代田
	壬生高峰城つつじ祭り	千代田
	壬生の花田植文化財合同祭り	千代田
	八重管絃祭	千代田
	よみがえりの水フェスタ	千代田
	琴庄夏祭り	豊平
	子どもそば打ち大会	豊平
	食の浪漫紀行	豊平
	城山公園花菖蒲まつり	豊平
	城山公園春祭り	豊平
	そばまつりとよひら	豊平
	年越しそば打ち	豊平
	豊平神楽競演大会	豊平
	豊平流段位認定大会	豊平
	原東大花田植	豊平
	春の花市	豊平
	パンジーフェア	豊平

種別	名称	エリア
温泉	おおあさ寒曳温泉(ゲストハウス銀の森)	大朝
	おおあさ鳴滝露天温泉	大朝
	田原温泉5000年風呂	大朝
	芸北温泉(芸北オークガーデン)	芸北
	千代田温泉	千代田
	中山温泉	千代田
	養老温泉	千代田
	龍頭温泉(どんぐり荘)	豊平
	からしる館	大朝
	天狗の里	大朝
産直市	本郷無人市	大朝
	わさーる産直館	大朝
	雄鹿原ふれあい朝市	芸北
	奥中原りんご	芸北
	さわやか森林の朝市	芸北
	自由市(仮称)	芸北
	直売所(仮称)	芸北
	日曜午後市	芸北
	ひまわり市場	芸北
	ふれあい市(仮称)	芸北
	JAグリーンちよだにいな市	千代田
	石本農場直売所	千代田
	氏神青空市場組合	千代田
	営農ふれあいの店	千代田
	蔵迫青空市場	千代田
	郷の崎無人市	千代田
	佐々木果樹園	千代田
	ふれあい市場	千代田
	ふれあいの店よりんさいや	千代田
	へんぼこ市場	千代田
本地青空市場よりんさいや	千代田	
よみがえりの店	千代田	
老人野菜市場	千代田	
鶏木無人市	豊平	
さんさん市	豊平	

種別	名称	エリア
史跡	枝ノ城跡	大朝
	枝の宮八幡神社本殿	大朝
	小倉山城跡歴史公園	大朝
	吉川経高墓所	大朝
	駿河丸城跡	大朝
	龍山八幡神社本殿	大朝
	地宗寺遺跡	大朝
	天磐門別神社	大朝
	西禅寺跡	大朝
	野田山城跡	大朝
	治功神社	大朝
	洞仙寺跡	大朝
	横路遺跡	大朝
	円正庵	芸北
	大歳神社	芸北
	大番さん	芸北
	大利城跡	芸北
	岡田神社とホウの木	芸北
	岡田の観音堂	芸北
	亀山八幡神社	芸北
	義農安左衛門の碑	芸北
	古代八幡湖遠望地	芸北
	金剛庵	芸北
	城岩	芸北
	菅ヶ原の祠	芸北
	照宮神社	芸北
	殿塚・郎塚	芸北
	西竜庵三島観音	芸北
	人參畑跡地	芸北
	馬頭観音堂	芸北
	牧野富太郎博士句碑	芸北
	山県製鉄所大暮工場跡	芸北
	与谷城跡	千代田
	有田城跡	千代田
	今田氏城館跡	千代田
	上本家住宅主屋	千代田
	猿喰城跡	千代田
	高峰城公園	千代田
	常仙寺跡・吉川興経の墓	千代田
	寺原城跡	千代田
歳ノ神墳墓群	千代田	
中出勝負峠墳墓群	千代田	
二宮就辰館跡	千代田	
日の山城跡	千代田	
万徳院跡歴史公園	千代田	
壬生西谷遺跡	千代田	
木造薬師如来及び両脇待像	千代田	
海応寺跡	豊平	
笠間城跡	豊平	
吉川元春・元長墓所	豊平	
吉川元春館跡	豊平	
坤東製鉄遺跡	豊平	
小見谷たたら製鉄遺跡	豊平	
八丁馬場	豊平	
槇ヶ原製鉄遺跡	豊平	
松本屋敷跡	豊平	
矢栗製鉄遺跡	豊平	

種別	名称	エリア
自然	大朝のテングシデ群落	大朝
	大塚の大アベマキ	大朝
	小倉山公園花ショウブ園	大朝
	寒曳山	大朝
	圓立寺のしだれ桜	大朝
	天意の里ハーブガーデン	大朝
	鳴滝	大朝
	西教寺のイチヨウ	大朝
	八栄神社の大ヒノキ	大朝
	阿佐山	芸北
	石橋正光屋敷跡の桜	芸北
	雲月山	芸北
	円正寺のいちよう	芸北
	大暮川	芸北
	大佐山	芸北
	大佐山	芸北
	奥滝山峡	芸北
	掛頭山	芸北
	カキツバタの里	芸北
	固完杉	芸北
	臥竜山	芸北
	カワシンジュガイ	芸北
	草安ため池	芸北
	下り松・一里塚	芸北
	地久院のしだれ桜	芸北
	御前滝	芸北
	サクラソウ園	芸北
	サクラソウの自生地	芸北
	桜並木	芸北
	城山	芸北
	鈴見堂	芸北
	大瀧山	芸北
	滝山峡	芸北
	出合滝	芸北
	長沢のしだれ桜	芸北
	中山八幡神社のモミの木	芸北
	聖湖	芸北
	聖山	芸北
	ブナの原生林	芸北
	枕ため池	芸北
三ツ滝	芸北	
仙水湖	芸北	
八幡湿原	芸北	
鏡滝	芸北	
丁川溪谷	芸北・豊平	
十二段滝	千代田	
海見山	千代田	
潜龍峡	千代田	
本地のクロガネモチ	千代田	
陰陽分水嶺	千代田・豊平	
鬼の釜	豊平	
熊野新宮神社の大杉	豊平	
古保利の大ヒノキ	豊平	
駒ヶ滝	豊平	
三ちゃんS村	豊平	
権谷山	豊平	
城山公園	豊平	
大丸峰	豊平	
都志見のアスナロ	豊平	
燕岩	豊平	
豊平園芸芸術村	豊平	
万代池	豊平	
龍頭山	豊平	

北広島町観光資源一覧

種別	名称	エリア
宿泊	おおあさ鳴滝露天温泉	大朝
	大朝ふれあいの森(バンガロー)	大朝
	グリーンヒルおおあさ	大朝
	田原温泉5000年風呂	大朝
	あるペン屋	芸北
	うめだや	芸北
	沖	芸北
	カントリーインふーすけ	芸北
	芸北オークガーデン(森林の館)	芸北
	芸北国際ロッジ	芸北
	芸北ハイランドホテル	芸北
	芸北ロッジ雪路	芸北
	城岩山荘	芸北
	農家の宿 静	芸北
	野花の館	芸北
	ふじもと	芸北
	ペンションそよ風	芸北
	民宿上岡	芸北
	民宿宇城	芸北
	民宿浮津	芸北
	民宿梅崎	芸北
	民宿岡田	芸北
	民宿岡田屋	芸北
	民宿岡杖	芸北
	民宿沖広	芸北
	民宿茅ヶ迫	芸北
	民宿吉川	芸北
	民宿くらたや	芸北
	民宿隅屋	芸北
	民宿高木	芸北
	民宿高橋	芸北
	民宿谷出	芸北
	民宿谷広	芸北
	民宿タニモト	芸北
	民宿徳永	芸北
	民宿仲江	芸北
	民宿ぶなの里	芸北
	民宿へいま	芸北
	民宿まき	芸北
	民宿むろや	芸北
	山崎	芸北
	梅田屋	芸北
	民宿原	芸北
	やまぶき	芸北
	民宿銀雪	芸北
	ピア・ムジカ芸北	芸北
	民宿やまびこ	芸北
かみて	芸北	
民宿藪谷	芸北	
民宿うえしん	芸北	
民宿多尾	芸北	
しもて	芸北	
アザレア千代田	千代田	
大杉屋旅館	千代田	
京屋旅館	千代田	
千代田温泉	千代田	
養老温泉青葉旅館	千代田	
どんぐり荘	豊平	
堂原旅館	豊平	
夢天文台 民宿「憩」	豊平	
管沢良典面工房	千代田	
刀匠三上定直日本刀鍛錬道場	千代田	
細川衣装店千代田支店	千代田	
工房 伝次郎	豊平	

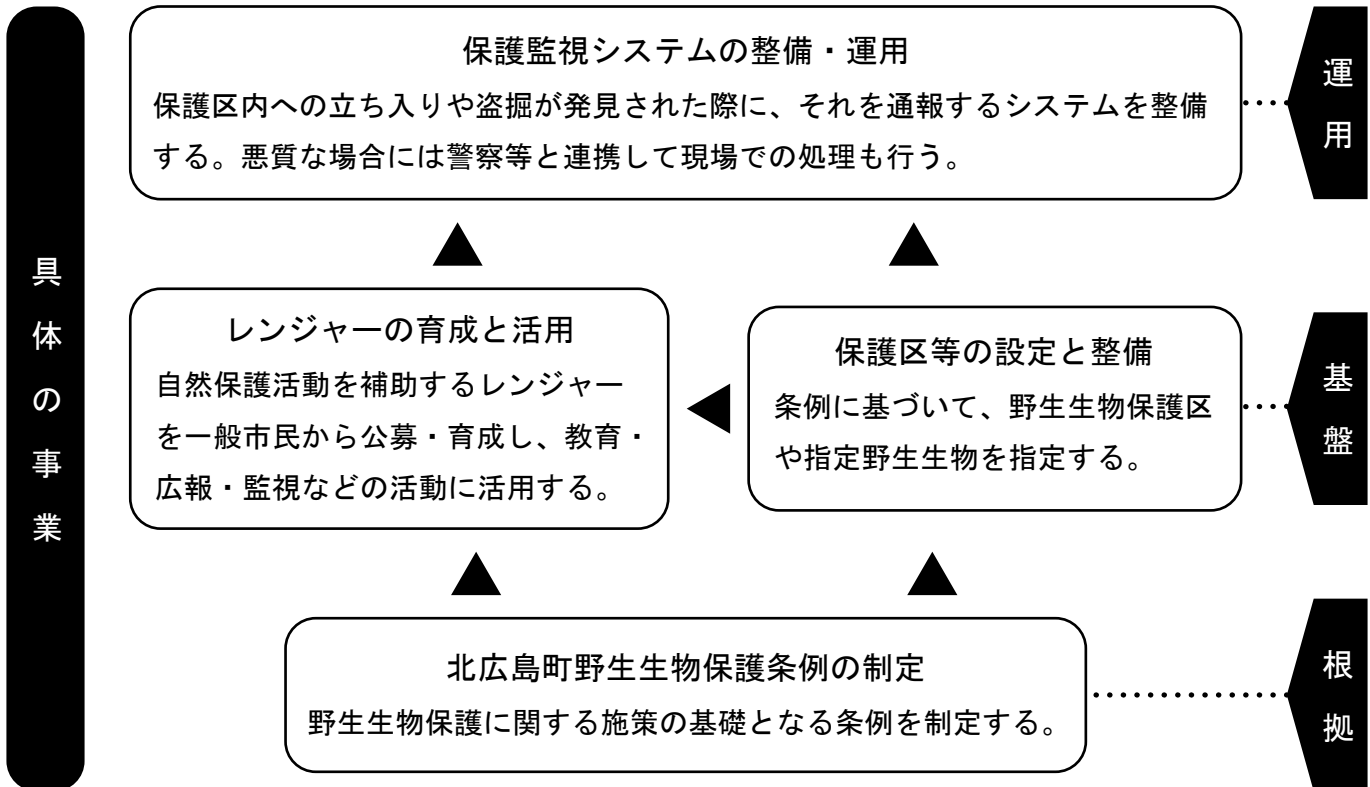
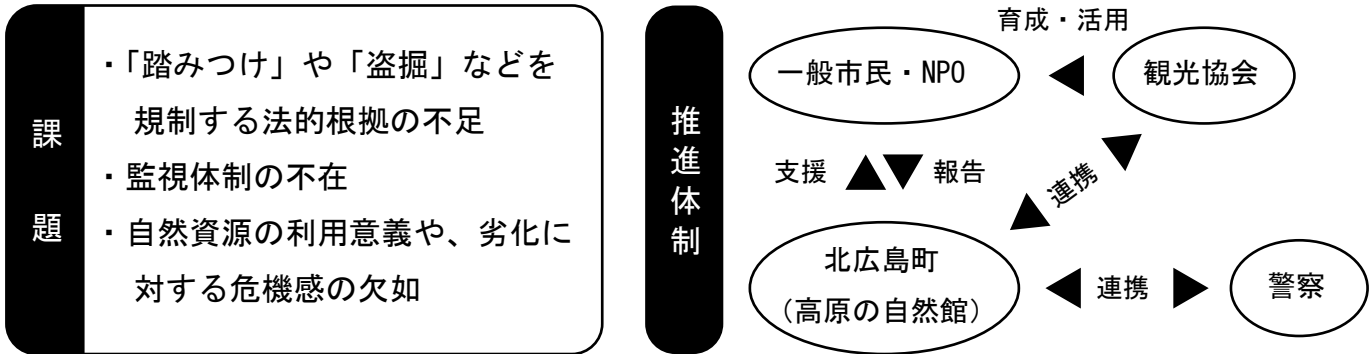
種別	名称	エリア
体験	小倉の里市民農園	大朝
	小川農場	芸北
	工房 野花の館	芸北
	アストロパーク夢天文台	豊平
	しいのみ村	豊平
	そば打ち体験	豊平
	地球派塾共盛	豊平
	ふれあい農園	豊平
	労金 森の学校	豊平
	安芸のはやし田(新庄のはやし田)	大朝
伝統芸能	可愛川太鼓	大朝
	南条おどり	大朝
	雄鹿原太鼓	芸北
	小原大元神楽	芸北
	火の山おどり	芸北
	細見もちつき唄	芸北
	芸北神楽	全エリア
	上川戸の虫送り	千代田
	川戸千石太鼓	千代田
	本地の花笠踊り	千代田
特産品	壬生の花田植	千代田
	原東田ばやし	豊平
	おおあさ・びゅあ菜米	大朝
	おこめん	大朝
	みそ	全エリア
	小麦焼酎「黒瀧」	大朝
	郷力米	大朝
	ジャンボしいたけ	大朝
	なたね油	大朝
	アマゴ	芸北
芸北ドルチェ	芸北	
芸北りんご	芸北	
芸北ロマン、冬々酒	芸北	
高原野菜	芸北	
北広島やまなみ どぶろく特区	全エリア	
神楽面	千代田	
大豆製品	千代田	
ゆず製品	千代田	
花壇苗	豊平	
杵搦き餅	豊平	
手造りよもぎ大福	豊平	
豊平そば	豊平	
とよひらの四季	豊平	
文化施設	筏津芸術村	大朝
	筏津民俗資料収蔵庫	大朝
	大朝郷土資料館(北広島町図書館内)	大朝
	北広島町図書館	大朝
	芸北 高原の自然館	芸北
	芸北民俗博物館	芸北
	清流の家	芸北
	美和郷土館	芸北
	美和東文化センター	芸北
	川東はやし田用具収蔵庫	千代田
楠苑三島食品資料館	千代田	
芸北民俗芸能保存伝承館	千代田	
千代田歴史民俗資料館	千代田	
八重西民具収蔵庫	千代田	
鉄のふるさと公園・どんぐり資料館	豊平	

種別	名称	エリア
名水	茅原湯谷の霊水	大朝
	天狗の水	大朝
	鳴滝天恵水	大朝
	岩座泉	芸北
	狸の穴	芸北
	雪霊水	芸北
	可部峠の御神水	千代田
	よみがえりの水	千代田
	朝枝みはらし公園	大朝
	大朝運動公園	大朝
レジャー	大朝ふれあいの森	大朝
	交流館天狗の里	大朝
	スキーパーク寒曳	大朝
	添谷つり堀遊園	大朝
	天意の里ハーブガーデン	大朝
	天狗の里公園	大朝
	二川キャンプ場	芸北
	大暮養魚場	芸北
	大佐スキー場	芸北
	雄鹿原高原スキー場	芸北
	奥原グラウンドゴルフ場	芸北
	銀嶺(スキー場)	芸北
	芸北運動公園	芸北
	芸北オークガーデン	芸北
	芸北文化ランド	芸北
	芸北美和スキー場	芸北
	毛無山登山ルート	芸北
	オ乙ルート(登山)	芸北
	三山縦走ルート(登山)	芸北
	山麓庵	芸北
	パインリッジリゾート芸北	芸北
	聖湖キャンプ場	芸北
	フライスポット大谷	芸北
	溝口農村広場(親水公園)	芸北
	溝口ルート	芸北
	八幡高原191スキー場	芸北
	ユートピアサイオト	芸北
	海見山カントリークラブ	千代田
	たいどう彫刻村	千代田
	千代田運動公園	千代田
千代田ゴルフ倶楽部	千代田	
道の駅舞ロードIC千代田	千代田	
薬師公園	千代田	
北広島乗馬クラブ	千代田	
アイリスカントリークラブ	豊平	
豊平総合運動公園	豊平	
豊平馬事公苑	豊平	
道の駅豊平どんぐり村	豊平	

# 観光振興まちづくり計画重点事業【北広島町 野生生物保護プロジェクト】

## ○重点事業の施策展開

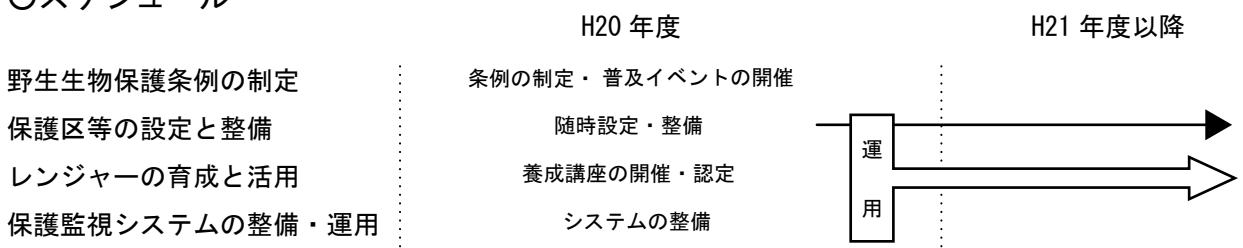
**目的** 町内に存在する西日本有数の自然を、持続的・発展的に観光に活用するために、将来予測されるオーバーユースに対応するための体制を整える。



**事業効果**

- ・町民、観光客双方に対する環境意識の醸成
- ・不法採取・踏み込みを抑止することによる持続的な自然資源の活用
- ・町内外に対する「自然環境を大切にす町」のアピール

## ○スケジュール



# 観光振興まちづくり計画重点事業【吉川史跡観光資源活用プロジェクト】

## 目的

吉川関連遺跡を観光資源としても活用  
遺跡の価値を町内外の人たちに知ってもらう。

## 現状

史跡の整備が完成し、学校教育の場や生涯学習の場で活用が期待されている。また、一方で、観光資源としての活用

## 課題

- 1. 歴史公園の付加価値⇒魅力づくり
- 2. 地元との交流が十分ではない。  
⇒イベントを通して来訪者と地元との交流
- 3. 遺跡の価値の啓発。
- 4. 地元の受け入れ態勢を

## 具体化事業

### 中世食文化体験事業

復元台所で中世の食膳をもとにした食事体験調理だけでなく、四季に応じた食材を地元と交流しながら、栽培したり、採集する。山菜等の採集するインストラクターを養成。好評なものがあれば、吉川本陣あるいは町内観光施設でのメニュー化

### 戦国の庭歴史公園多面的活用事業

芝生広場⇒お月見コンサート、雅楽会  
復元かまど⇒草木染め  
志路原川 サンショウウオ観察会、お花見

### 中世遺跡探訪事業

ストーリー性のあるモデル探訪コースの設定「中世遺跡探訪回廊」  
小学生が読んでもわかるようなガイドブックの作成  
ボランティアガイドによる来訪者の案内

### ボランティア養成事業

イベント時運営補助ボランティア  
史跡探訪ボランティアガイド育成  
来訪者とボランティアガイドを結ぶ受け入れ体制づくり

## 期待される効果

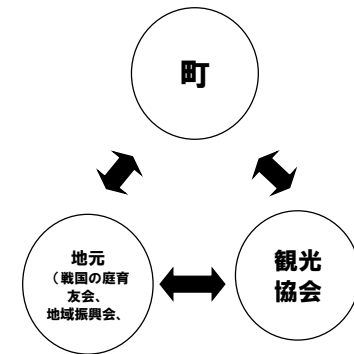
遺跡に関心がある人を含めて、遺跡に関心がない人も歴史公園を訪れてもらい、歴史公園が地元との来訪者との交流の場として活用し、来訪者にとって地域への親しみがもてるようになる。  
⇒心の潤いづくり

そばだけでなく、中世の食膳を再現し、客

遺跡の価値を啓発することで、遺跡に対する理解を深める。

魅力ある史跡めぐりによる来訪者の増加

## 推進体制

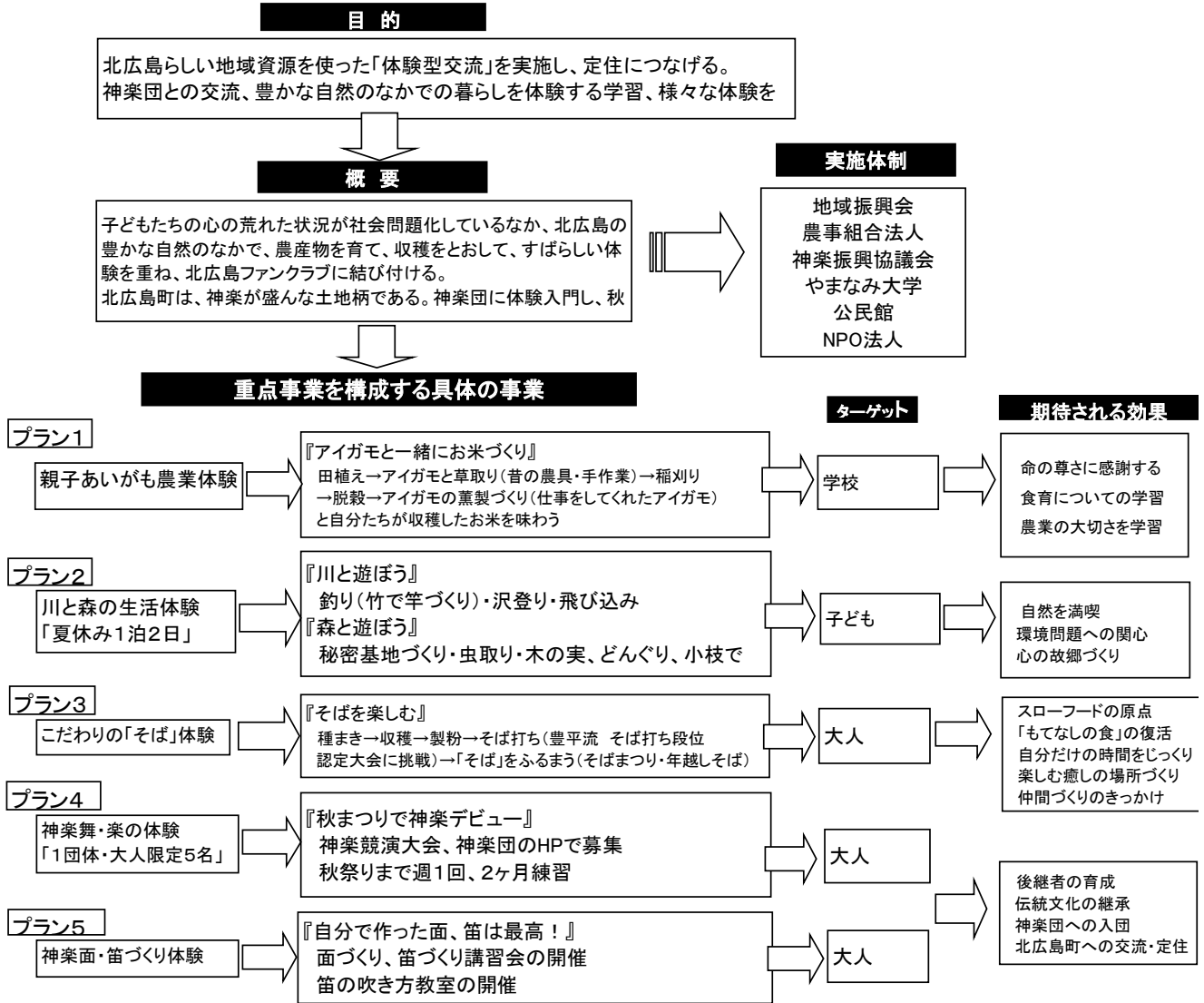


## スケジュール

事業名（仮称）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
ボランティア養成事業	事業展開				
中世食文化体験事業	事業展開			中世の食膳のメニュー化	
戦国の庭歴史公園体験事業	事業展開				
中世遺跡探訪事業	事業展開				

# 観光振興まちづくり計画重点事業【農山村体験交流プロジェクト】

## ○重点事業の施策展開



### 事業スケジュール

プラン名	平成20年度	平成21年度
親子あいがも農業体験	事業実施準備(拠点づくり・受入体制づくり・PR宣伝)	事業展開
川と森の生活体験	事業実施準備(拠点づくり・受入体制づくり)	事業展開・インストラクターの養成
こだわりの「そば」体験	事業実施準備(受入体制づくり)	事業展開(栽培教室・そば打ち講習会・認定大会)
神楽舞・楽の体験	事業実施準備(受入体制づくり)	事業展開(神楽団へ体験入門)
神楽面・笛づくり体験	事業実施準備(受入体制づくり)	事業展開(講習会・教室開催、神楽団へ体験入門)

# 観光振興まちづくり計画重点事業【どぶろく活用プロジェクト】

## 目的

地域資源を活かした滞在型観光の定着を目指し、交流人口の拡大による地



どぶろくを飲みながら民宿で四季折々の田舎料理と風景でおもてなしができる

## 課題

### ①製造者の増員

免許取得にかかる条件(自らが飲食店業を営み、米作を行っていること)をクリアした者が免許申請が行なえるため、申請できる者は限定され、申請に至るまでに酒造りの研修を受ける必要がある。

申請自体も煩雑なので、申請者も二の足を踏んでいるのも現実。マニュアルを整備する必要がある。

また、生産者の技術向上を図るため、定期的な検討会が必要。(どぶろく研究会)

### ②有害鳥獣と言われるイノシシ、シカを活かせないか？

## 実施体制

どぶろく研究会(芸北地域)  
芸北民宿業振興協会

## 重点事業を構成する具体の事業

### ステップ1

実施年度 H20～H21

#### ① 製造者の育成

- ・平成19年11月1日現在2名製造者の育成(2人→5人目標)
- ・手続フローの作成(マニュアル整備)

#### ② どぶろくに合う料理の開発

- ・田舎らしさに「新しさ」を加た、どぶろくに合う料理
- コンテストの開催

#### ③ どぶろくを飲む場所づくり

- ・おもてなし勉強会の開催(民宿)
- ・四季に応じたシチュエーションを体験し、地元で採れた食材、田舎料理を味わっていただく
- ・きたひろしまファンクラブ制をつくり、定期的に情報を発信する。
- ・どぶろくまつりの開催

### ステップ2

実施年度 H22～H25

#### ① 製造者の育成

- ・製造者5名から10名へ(主に芸北地域、民宿経営者)
- ・経営指針講座の開催

#### ② どぶろくに合う料理の開発

- ・どぶろくに合う料理の開発、コンテスト料理のレシピ化
- ・有害鳥獣と言われるイノシシ、シカを生かした料理開発
- マイナス要素を逆手に取る

#### ③ どぶろくを飲む場所づくり

- ・おもてなし勉強会の開催(継続)
- ・どぶろく手形、カードの発行
- ・どぶろくを扱う店のマークづくり
- ・スキーイベントとのタイアップ(スキーキャンペーン)

## 期待される効果

- 交流人口の増員(どぶろく提供により、滞在時間が増える)
- 生産者所得の向上  
どぶろく売上:年間4800万円=約1,000万円  
宿泊者数(どぶろくを目当てに)の増大(前年度比1.05倍)H19.11.20現在(冬季間は増える見込みあり)

スケジュール(年度)	20年	21年	22年	23年	24年	25年
製造者の育成	〇	〇	〇	〇	〇	〇
どぶろくに合う料理開	〇	〇	〇	〇	〇	〇
どぶろくを飲む場所作	〇	〇	〇	〇	〇	〇

## 観光振興まちづくり計画重点事業

### 【宝の山きたひろしま お宝発見プロジェクト】

#### 課題

- ・北広島の地域資源の希少価値についてまだ知らないことが多い。
- ・旧町へのこだわりが強く、北広島町は一つという意識が薄い。

#### 目的

住んでいる地域の「よさ・すばらしさ＝宝」再発見を促し、北広島町への愛着と誇りを醸成する。

#### 概要

- 地域資源の希少価値を知る機会をつくる。
- 地域資源の活用方法を学習する。
- 北広島の資源に興味関心をもってもらう取組。

#### 体制

地域住民・地域協議会  
広島大学  
観光協会・北広島町

#### 具体的事業

<p><b>ふるさと再発見講座</b></p> <p>ふるさとの貴重な資源について、再認識するための講座 (植物・オオサンショウオ・神楽、史跡など)</p> <p>●8回講座 (公民館開催)案</p>	<p><b>お宝発掘プログラム</b></p> <p>自分たちが住む地域にある資源を発掘し、今後の活用方法を学習するワークショップを開催。</p>	<p><b>きたひろご当地検定</b></p> <p>「北広島通」を検定試験により認定する。認定者を北広島観光大使につなげる。</p>
--	---	---

#### 期待される効果

地域リーダーの育成が図られる。  
地域の資源の活用が図られる。  
地域の活性化に繋がる。  
北広島への関心が高まる。

#### スケジュール

	20年度	21年度	22年度
ふるさと再発見講座	→	→	
お宝発掘プログラム	毎年実施	→	→
きたひろご当地検定		→	→

# 観光振興まちづくり計画重点事業【手つなぎプロジェクト】

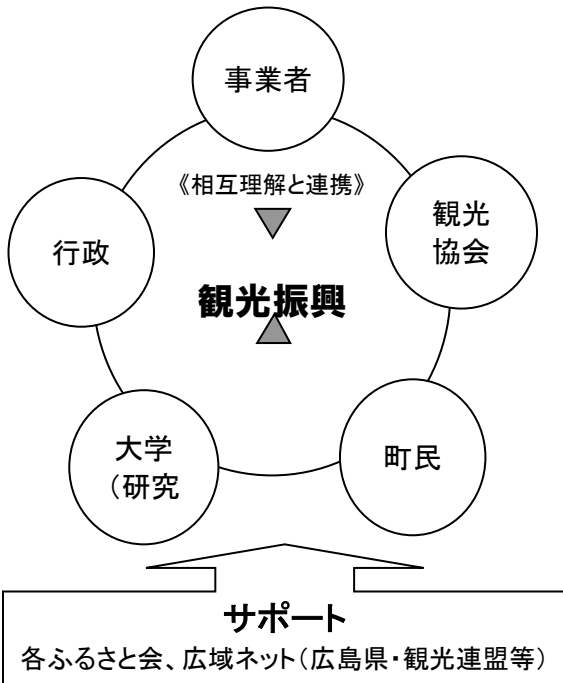
## 目的

町内はもとより、町外とも広く連携をとり、人を、まちをネットワークすることで、観光振興推進体制を構築する。

## 課題

- 観光に係わる団体が個々で活動しており、連携がとれていない
- 事業者、町民、観光協会、行政の役割分担が不明確
- 町域を超えた広域連携が弱い

## 実施体制(推進体制)



## 具体の事業

### ふるさと交流推進事業

町出身者で旧町ごとに設立されている「ふるさと会」の総会開催を北広島町に誘致。地元との交流機会の増加と、会員の「北広島応援団・宣伝員」化を狙い、町外からも観光振興を推進。

### 産・学・民・官連携体制確立

観光に係わる多岐にわたる団体を、それぞれが独自に活動するのではなく、各主体の特性を活かした役割分担を行うことにより、強力な連携体制を構築する。

## 事業効果

- 北広島町が一体となった観光振興の実現
- 町外観光サポート場所の確保
- 広域化による、多彩で魅力ある観光の展開

### 広域ネットワークの構築

北広島町が持っていない魅力を相互に補完しあい、強固な連携をとるため、広域ネットワークづくりを進める。

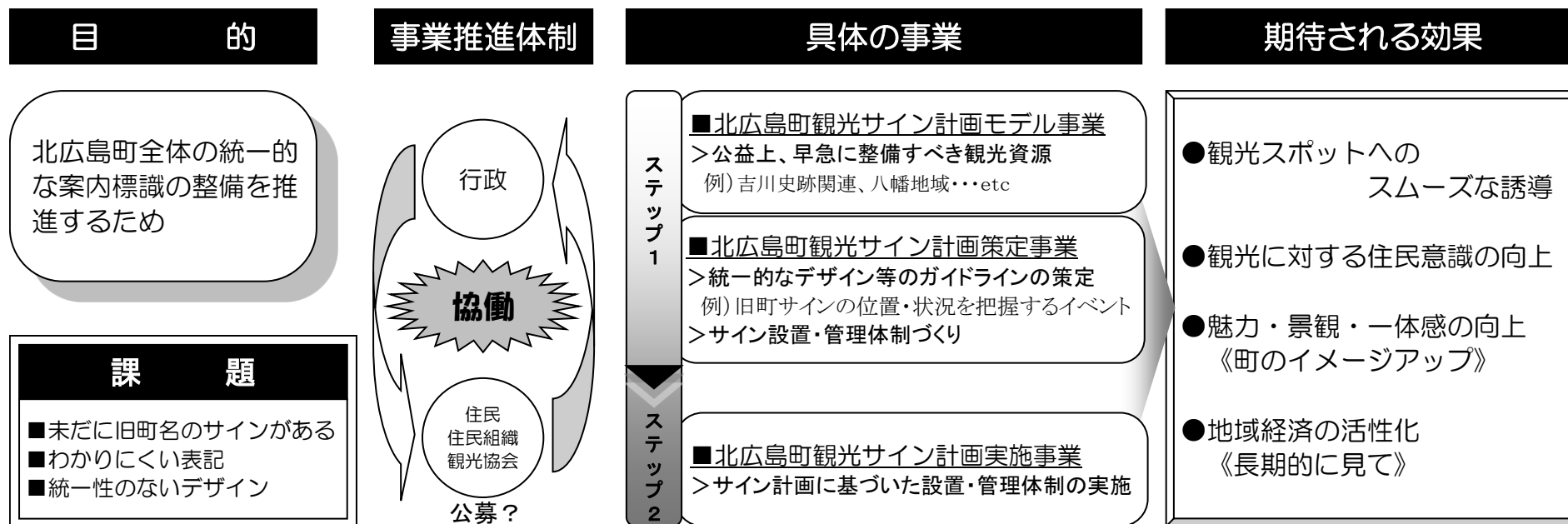
## 事業スケジュール

	平成20年度	平成21年度以降
ふるさと交流推進事業	総会誘致	順次総会開
産・学・民・官連携体制確立	体制づくり	各事業展開
広域ネットワークの構築	ネットワークづくり	広域事業実施



## 観光振興まちづくり計画重点事業【観光サイン整備プロジェクト】

### ○サイン計画の施策展開



### ○スケジュール

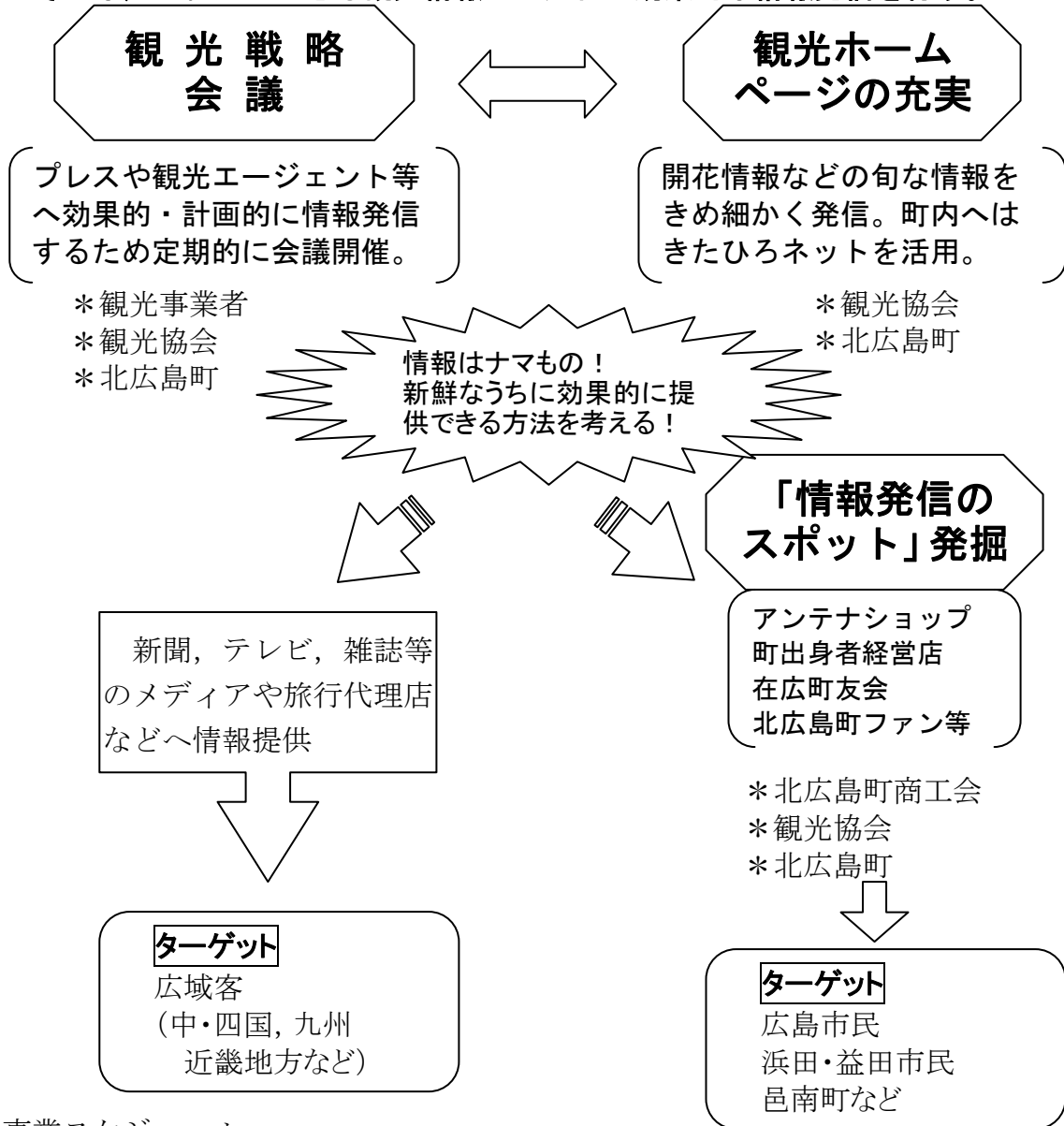
事業名(仮称)	平成20年度				平成21年度～			
北広島町観光サイン計画モデル事業								
	モデル地域指定、ワークショップ、設置・管理							
北広島町観光サイン計画策定事業								
	計画策定		効果の検証					
北広島町観光サイン計画実施事業								
					主要な観光資源から随時設置			

## 観光振興まちづくり計画重点事業【観光情報発信プロジェクト】

「北広島ってどこ？ 何がある町？」

「町内に住んでいても、広くて様子が分からない」

…そんな声にお応えできる観光情報の一元化と効果的な情報発信を行う。



### ◎事業スケジュール

事業の名称	平成20年度
観光戦略会議	委員会発足、会議の開催、随時情報提供 →
観光ホームページの充実	HP立ち上げ、編集開始 →
「情報発信のスポット」発掘	スポット探索、協力依頼、情報発信 →

### ◎期待される効果

- ・「北広島」の認識度アップ！
- ・「北広島の今」を伝え、集客率アップ！
- ・「北広島」の身近さアップ！

## 北広島町観光振興計画策定委員会並びに庁舎内プロジェクトチームの概要

### 1. 北広島町観光振興計画策定委員会の概要

策定委員会を4回開催し、各委員のそれぞれ専門的な立場から、北広島町の観光振興に関する課題や施策について議論をいただいた。

#### ① 第1回策定委員会

日 時：平成19年8月8日 9:30～11:30

場 所：北広島町役場2階会議室

内 容：策定委員会の委員長、副委員長を選任し、観光振興計画のねらい及び会議スケジュール、北広島町の観光の現状を説明した。その後、各委員から自己紹介等をしていただいた。

#### ② 第2回策定委員会

日 時：平成19年10月10日 14:00～16:00

場 所：北広島町役場2階会議室

内 容：北広島町観光の課題整理と方向性、めざす北広島町観光の姿について事務局から報告し、議論をいただいた。

#### ③ 第3回策定委員会

日 時：平成19年11月19日 14:00～16:00

場 所：北広島町役場2階会議室

内 容：計画の骨子とアクションプラン（後に「重点事業」に名称変更。以下同じ。）について事務局から報告し、意見交換をしていただいた。

#### ④ 第4回策定委員会

日 時：平成20年1月21日 14:00～16:00

場 所：北広島町役場301会議室

内 容：計画（案）の内容を説明した。計画の名称を「北広島町観光振興まちづくり計画」、策定委員会の名称を「北広島町観光振興計画策定委員会」と決定した。計画の目標について再検討が必要との意見が出され、計画の中でも重要な箇所であることから、委員長と事務局が再協議を行い、各委員へは文書で報告することで、計画は承認された。

#### ⑤ 北広島町観光振興まちづくり計画答申

日 時：平成20年3月4日 11:00～11:30

場 所：北広島町役場町長室

内 容：戸田常一委員長から北広島町長へ計画が答申された。

## 2. 庁舎内プロジェクトチームの概要

実行に繋げる計画とするため、職務に直結する担当で構成するプロジェクトチームを立ち上げ、プロジェクトチームからの提案を策定委員会で審議していただいた。

### ① 第1回プロジェクト会議

日 時：平成19年6月1日 14:00～16:00

場 所：北広島町役場 201 会議室

内 容：観光振興に取り組む意義などを説明。その後、観光資源データベース作成が必要との意見により、データベース作成作業を行うこととした。

### ② 第2回プロジェクト会議

日 時：平成19年6月15日 14:00～16:00

場 所：北広島町役場 201 会議室

内 容：観光資源データベース作成作業について報告後、観光振興のテーマ出しと分類をワークショップ方式で行った。この結果を基に3つのグループに分かれ、各テーマに基づいた具体的な施策を考えていくこととした。

### ③ 第3回プロジェクト会議

日 時：平成19年6月28日 14:00～16:30

場 所：北広島町役場 201 会議室

内 容：3グループ毎に、テーマに基づいた具体的な施策を考える作業を行った。

### ④ 第4回プロジェクト会議

日 時：平成19年7月13日 14:00～17:00

場 所：北広島町役場芸北支所中会議室

内 容：北広島町の観光に関するデータを見ながら問題点を再確認。計画の基本理念について検討を行った。

### ⑤ 第5回プロジェクト会議

日 時：平成19年8月9日 14:00～16:30

場 所：北広島町役場大朝支所2階維精館ホール

内 容：北広島町観光の課題整理と解決の方向性について検討を行った。また、具体的な施策の検討を行った。

- ⑥ 第6回プロジェクト会議  
日 時：平成19年9月4日 14:00～16:30  
場 所：北広島町役場豊平支所1階会議室  
内 容：重点的に取組む施策をアクションプランと位置づけ、テーマを「自然」、  
「吉川史跡」、「どぶろく」、「交流」、「地域の魅力再発見」、「推進体制」、  
「観光サイン」、「情報発信」、に絞り込み、検討することにした。
- ⑦ 第7回プロジェクト会議  
日 時：平成19年9月21日 14:00～16:30  
場 所：北広島町役場401会議室  
内 容：アクションプランの検討を行った。
- ⑧ 第8回プロジェクト会議  
日 時：平成19年10月5日 14:00～16:30  
場 所：北広島町役場芸北支所中会議室  
内 容：第2回策定委員会へ提出する議題の検討後、アクションプランの検討を  
行った。
- ⑨ 第9回プロジェクト会議  
日 時：平成19年10月22日 14:00～16:30  
場 所：北広島町役場401会議室  
内 容：アクションプランの検討を行った。また、外部講師を招きアクションプラ  
ン検討会を開催することとした。
- ⑩ アクションプラン検討会  
日 時：平成19年11月2日 14:00～17:00  
場 所：北広島町役場301会議室  
講 師：(株)ジェイコム広島営業局営業部観光マーケティング室 プロデューサー  
高垣 広志 氏  
社団法人広島県観光連盟 課長 原田 昭則 氏  
広島県商工労働部産業振興局観光振興室 主任主事 須原 章 氏  
内 容：観光の専門家の観点から、各アクションプランについて議論いただいた。
- ⑪ 第10回プロジェクト会議  
日 時：平成19年11月22日 10:00～12:00

場 所：北広島町役場委員会室

内 容：第3回策定委員会へ提出する議題の検討後、アクションプランの再検討を行った。

⑫ 第11回プロジェクト会議

日 時：平成19年12月6日 10:00～12:00

場 所：北広島町役場201会議室

内 容：計画の名称について、計画の点検・評価の方法について検討した。また、アクションプラン外の事業について検討を行った。

観光振興計画策定委員会委員

区 分	役 職	氏 名（敬称略）	摘 要
学識経験者	広島大学大学院社会科学研究科教授	戸田 常一	委員長
	(株)ジェイコム広島営業局営業部観光マーケティング室プロデューサー (兼広島県観光連盟観光アドバイザー)	高垣 広志	
商工観光事業関係	(株)アンデルセン アンデルセン営業本部 総合企画室 マーケティング部 部長	上杉 優子	
	東洋観光グループ ホテルプロヴァンス' 21 総支配人	松廣 俊彦	
	社団法人広島県観光連盟 専務理事	森本 文人	
	北広島町観光協会協議会 会長	大谷 博幸	副委員長
	北広島町商工会 副会長	藤堂 修壮	
	ショールーム家具楽 代表	上川 雅史	
	たび〜とホープバス協同組合 代表	堀田 高広	
	天意の里ハーブガーデン 代表	山根 朝美	
文化関連団体	西中国山地自然史研究会 会長	近藤 紘史	
	NPO広島神楽芸術研究所 事務局	増田 恵二	
	三ちゃんs村 事務局長	渡 忠義	

庁舎内プロジェクトチーム

所 属	職 名	氏 名
企画課	主任主事	竹下 靖彦
産業課	主任	五反田 希奈美
教育委員会生涯学習課	主任主事	大下 裕史
芸北 高原の自然館	主任学芸員	白川 勝信
芸北支所産業建設課	主任主事	山田 歩
大朝支所産業建設課	主任	島田 英樹
豊平支所産業建設課	主任	小川 友里江
企画課立地定住推進室	室長	森脇 誠悟
企画課立地定住推進室	専門員	三宅 正登
企画課立地定住推進室	主任	頼政 孝治
企画課立地定住推進室	主事	越岡 真喜子

事務局

所 属	職 名	氏 名
企画課	課長	末田 初太郎
企画課立地定住推進室	室長	森脇 誠悟
企画課立地定住推進室	専門員	三宅 正登
企画課立地定住推進室	主事	越岡 真喜子